

ゆび募金だより

会報 第3号 平成22年 10月 1日発行

特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会
〒186-0004
東京都国立市中1-18-41 栄ビル301
TEL 042-571-2233
FAX 042-571-2263
Eメール info@jkkyoukai.com
URL <http://jkkyoukai.com/>

No.

3

会報 第3号

この潤いが 小さな社会貢献へ



ゆび募金

企業のCSR報告

JKレポート～寄付先の活動を知ろう！

JKニュース「ハイチ大地震 緊急支援情報」

株式会社 ツムラ (東京支店)

当社の考えるCSR

当社は漢方・生薬事業を通じ、「社会や人々のお役に立てる企業」、「人に優しい企業」でありたいと考えています。そのため漢方製剤の安全・安心・安定供給、低炭素社会への貢献、漢方を通じた社会とのコミュニケーションを通じて社会的責任を全うしたいと考えています。

原料の栽培からお客様のお手元に届くまで、一貫したトレーサビリティ体制の実現

工場、オフィスでの省エネルギーシステムの転換と強化

セミナー協賛など漢方の普及啓発活動

株式会社 ツムラ
取締役社長: 芳井 順一
所在地: 東京都港区赤坂二丁目17番11号
人員構成: 2,270名 (平成21年9月30日現在)
事業内容: 医薬品製造販売

「漢方の可能性を医療の新たな可能性に」

ゆび募金自販機の設置について

東京支店内に自販機の設置を検討していたところ、「ゆび募金」自販機があるという情報を得、社内衛生委員会で設置を決定しました。

環境対策としては既にNPO法人エコキャップ推進協会の「エコキャップ活動」に参加していますが、「ゆび募金」に参加することにより、社員の意識向上にもつながり、社会貢献活動の一環として当社の取り組みにもつながるものと考えています。

今後「ゆび募金」が広く認知され、世の中のお役に立つことを期待します。



今回は㈱ツムラ様、㈱大島椿本舗様のCSR活動についてご紹介します。ゆび募金に対する思いも語っていただきました。

企業

CSR活動

当社の考えるCSR

大島椿は、創業80余年のツバキ専門メーカーであり、顧客満足を主体として製品の製造・商品開発に注力しています。

新工場建設に伴い、エコ素材の建築資材を使用するなど環境にも配慮しました。工場移転に伴いほとんどの従業員が勤務できる体制も考慮しました。販売においてはお客様相談室を設置しており、商品に関するお問い合わせ、使用方法等フリーダイヤルで対応し、ISO10002を取得しています。

ゆび募金自販機の設置について

当社役員がボランティア活動を通じて日本補助犬協会とつながりがあり、新工場建設に伴い社員にもその意識を持たせるため、休憩室にゆび募金自販機を設置することを決断しました。

屋外に設置されている自動販売機の多くがこのような目的を持つことが出来ると社会全体の意識が高まるのではないかと思います。



株式会社 大島椿本舗

「本物志向で顧客満足の品質を」

株式会社大島椿本舗
代表取締役社長: 小泉 昌啓
所在地: 東京都八王子市兵衛2-35-4
人員構成: 従業員 52名
事業内容: ツバキ専門メーカー、椿油を原料としたヘアケア・スキンケア製品の製造販売。



JK
特派員

社会福祉法人あかぎの響

のご紹介

社会福祉法人 あかぎの響

【設立】平成17年10月17日 【代表者名】下田 健次

【活動内容】社会福祉法人あかぎの響は、どんな障がいをもっている幼児期、学童期、青年期そして親なき後も「地域で生き生き暮らしたい」という願いのもと、平成8年4月に障がい児学童保育をスタートさせました。その後、障がい（児）者の方を緊急にお預かりするサービスや障がい（児）者を対象としたヘルパーステーションを行い平成17年10月に社会福祉法人を取得、平成18年4月より障がい者の就労支援として、通所授産施設なかまと在宅重度障がい者の日中活動等を行う、障がい者デイサービスセンターを開所しました。

施設は、前橋市富士見町の中核にあり、毎日の生活の中で、さまざまな世代の方々とふれあえる環境にあることが最大の特徴です。学童クラブは散歩を通して、自然とふれあうことで季節を体で感じ、就労支援ではパンと農産物の販売をしています。昼時には、地域の公共施設にも販売に出掛けます。これからも、さまざまな活動を通して地域のイベントに参加し、障がい者への理解と地域との共生を図りたいと考えています。



認定NPO法人子どものいのちを守る会

のご紹介

認定NPO法人子どものいのちを守る会

【設立】平成14年2月

【代表者名】村井 實（慶應義塾大学名誉教授）

【活動内容】われわれの将来を担う子どもたちは、生まれ育ちの環境（家庭、学校、社会、自然）の悪化にうちひしがれ、輝くべき未来に希望を持っていない状況にあると思います。これらは、子どもたちの食べ物、飲み物の劣化（化学物質による汚染）、現教育体制の在り方の問題、家庭教育さらに家庭の崩壊などが原因だと認識しております。私達は、このような現実を直視し、子どもたちにとって、より安全で健康な条件を作り出すための活動が緊急の課題であると信じ、NPO法人を設立して、身近に出来る活動を続けております。

- (1) 発足以来、毎年「親子塾」を開催して、親子の絆を改めて見直すキッカケを作っています。また、講演会等の開催を通じて、子どもたちのより良い成長の重要性を一般消費者に訴え、理解を広める活動。
- (2) 子どもたちのために、安全でおいしい食べ物、飲み物を作っている生産者の情報を収集し、紹介する活動。
- (3) 子どもたちを取りまく諸問題に関する図書、刊行物の配布などを通じて、私達の志向する考え方を広める活動。

「ゆび募金」寄付については、「親子塾」の補助金、会報の印刷費等の貴重な財源として使わせていただいております。

詳しくは、ホームページ www.kdminc-mamorukai.com をご参照下さい。



薬草園で



ジェイケー・レポート
JK Report

寄付先の活動を知ろう！

welcome!



料理教室



もちつき



水辺で遊ぶ

ハイチ大地震 緊急支援情報

ハイチ大地震緊急支援のため、ゆび募金から100万円の寄付を行いました

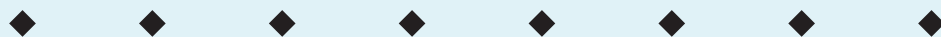


贈呈式の様子(左:高嶋由美子 国連UNHCR協会事務局長、右:松谷高顕 会長)



ハイチ大地震の被災者のもとに届けられる救援物資(c)UNHCR

2010年1月12日にハイチ大地震が発生して数カ月、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）はハイチに緊急支援チームを派遣し、現地での緊急援助活動に取り組んできました。UNHCRはこれまでに、20万人を超える被災者に対して、緊急援助活動を行ってきました。しかし、現地では、膨大なニーズに対して支援が十分に行き届いていない状況にあり、今後解決していくべき課題はまだ山積しています。



このたび、JK協会はハイチ大地震による被災者への復興支援のため、国連UNHCR協会を通じて100万円を贈呈しました。贈呈式は、2010年2月19日(金) 午前11時より行われました。

この支援金は、現地で不足している被災者用のテントやビニールシート等の救援物資購入に活用されます。150万人とも言われる避難民への支援は当面続く予定です。今回の寄付が、一人でも多くの被災者の支援につながることを願います。

なお、この寄付金は主旨に賛同して頂いた316件のロケオーナー様と、ゆび募金の寄付先に指定されている下記7団体の理解を得て実現したものです。謹んで感謝申し上げます。

- | | |
|---------------------|------------------|
| ・ NPO法人 全国障害者福祉援護協会 | ・ 財団法人 日本盲導犬協会 |
| ・ 東邦基金 | ・ 産経新聞 明日への旅立ち基金 |
| ・ 埼玉県自閉症協会 | ・ 財団法人 九州盲導犬協会 |
| ・ 財団法人 緑の地球防衛基金 | |

編集後記

今夏の猛暑の中、ゆび募金だより第3号の編集を汗をかきながら格闘している最中に、多くのお年寄りが熱中症で亡くなられたり、100歳以上のお年寄りが200名以上も行方不明となっていることが判明しました。75歳以上のお年寄りの所在の確認を行ったら、どのような事態になるか?とても恐ろしい気分になりました。

私たちの思っている以上に、貧困、家族崩壊、地域社会(助け合い)の崩壊が進行していることを実感しました。ジャパン・カインドネス協会の支援活動も一層気を引き締めていかなければと決意を新たにしました。最後になりましたが、今回、取材にご協力いただきました関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。

ゆび募金だより 会報第3号

発行日: 2010年10月1日

発行:  特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会

〒186-0004

東京都国立市中1-18-41 栄ビル301

TEL: 042-571-2233

FAX: 042-571-2263

Eメール: info@jkkyoukai.com

URL: <http://jkkyoukai.com/>